

## 1-3 月期 GDP は前期比年率▲1.8%を予想

フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一  
 経済調査部 エコノミスト 前田 和孝

### 1. 1-3 月期実質 GDP 成長率はマイナスを予想

内閣府から 5 月 18 日に発表予定の 2022 年 1-3 月期実質 GDP 成長率は、前期比▲0.4%（年率換算：▲1.8%）と、2 四半期ぶりにマイナスに転じたと予想する。オミクロン株の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の発令で、個人消費が落ち込んだことがマイナス成長に寄与したと見込む。

### 2. まん延防止等重点措置の発令が響く

需要項目別に見ると、個人消費は 10-12 月期：前期比+2.4%→1-3 月期：同▲0.7%と、2 四半期ぶりにマイナスに転じたと予想する。まん延防止等重点措置の発令に伴い、飲食・宿泊業などの対面サービス産業を中心に消費が落ち込んだとみる。住宅投資は、建設資材の上昇が持家を中心に需要を抑制したとみられることなどから、10-12 月期：前期比▲1.0%→1-3 月期：同▲0.7%と、3 四半期連続でマイナスになったと予想する。設備投資は、オミクロン株の感染拡大による東南アジアからの部品調達難が足を引っ張ったものの、DX（デジタルトランスフォーメーション）や脱炭素関連の投資需要が引き続き堅調だったことから、10-12 月期：前期比+0.3%→1-3 月期：同+0.6%と、小幅ながらプラスを確保したと予想する。公的固定資本形成は、国土強靱化関連の防災・減災工事や災害復旧工事の一巡等もあって低調な推移が続き、10-12 月期：前期比▲3.8%→1-3 月期：同▲3.0%と、5 四半期連続のマイナスを予想する。政府最終消費支出は、ワクチンの 3 回目接種が進展したことから、10-12 月期：前期比▲0.4%→1-3 月期：同+0.6%と、2 四半期ぶりにプラスに転じたとみる。輸出は、米国向けが堅調だったことなどから、10-12 月期：前期比+0.9%→1-3 月期：同+1.8%と、プラスの伸びを確保したと予想する。もともと、輸入が 10-12 月期：前期比▲0.4%→1-3 月期：同+3.1%と、3 四半期ぶりにプラスに転じたことから、外需の寄与度は▲0.2%ポイントのマイナスになったと見込む。

### 3. 2022 年 4-6 月期は反発を予想

4-6 月期の日本の実質 GDP 成長率は、まん延防止等重点措置の解除に伴って個人消費の反動増が顕在化することから、プラスに転じると予想する。設備投資は、部品供給不足が次第に緩和に向かうとみられるほか、DX や脱炭素関連の需要が引き続き旺盛なことから、堅調に推移すると予想する。輸出は、中国向けは停滞が続くものの、米国向けを中心に緩やかな回復が続くとみる。

ただ、個人消費の勢いは、エネルギーや食品価格上昇によって一部相殺される可能性が高い。円安や穀物価格上昇を背景とした物価上昇は当面の間続く可能性が高く、反動増一巡後の個人消費の下押し要因になるとみる。7-9 月期以降の日本経済は、再び潜在成長率にさや寄せされる形で停滞気味の推移に戻るとというのがメインシナリオである。

## 実質GDP成長率予測

(前期比：%)	21/3	21/6	21/9	21/12	→予測	
					22/3	寄与度
実質GDP	-0.5	0.6	-0.7	1.1	-0.4	-
前期比年率	-2.2	2.4	-2.8	4.6	-1.8	-
民間最終消費支出	-0.8	0.7	-1.0	2.4	-0.7	-0.4
民間住宅投資	0.9	1.0	-1.6	-1.0	-0.7	-0.0
民間設備投資	0.4	2.0	-2.4	0.3	0.6	0.1
政府最終消費支出	-0.6	0.7	1.1	-0.4	0.6	0.1
公的固定資本形成	-1.7	-3.4	-3.0	-3.8	-3.0	-0.1
民間在庫品増加(寄与度)	0.1	0.0	0.1	-0.1	-	0.1
純輸出(寄与度)	-0.1	-0.1	0.1	0.2	-	-0.2
財貨・サービスの輸出	2.2	3.1	-0.3	0.9	1.8	0.3
財貨・サービスの輸入	3.0	3.8	-1.0	-0.4	3.1	-0.6
内需(寄与度)	-0.4	0.7	-0.8	0.9	-	-0.2
名目GDP	-0.5	0.2	-1.1	0.3	-0.0	-
前期比年率	-1.8	0.8	-4.2	1.4	-0.2	-
GDPデフレーター(前年同期比)	-0.1	-1.1	-1.2	-1.3	-1.0	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●照会先● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411